

会 議 録		令和7年2月21日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府木津警察署協議会（令和6年度第4回）		
開催日	令和7年2月19日（水曜日）		
時 間	午後3時30分から午後5時までの間（90分）		
場 所	京都府木津警察署 講堂		
出席者	光橋会長、山本副会長、奥委員、岸田委員、浦本委員、矢島委員、有馬委員、 岩木委員 （欠席 宮本委員、服部委員、ジョナサン委員） 計8人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 広聴・相談係長 計8人		
諮 問 事 項	闇バイト対策について		
会 議 内 容	<p>1 会長挨拶 司会 警務課長</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 協議 司会 会長</p> <p>諮問事項説明 闇バイト対策について～生活安全課長</p> <p>【委員】生活安全課長の説明をお伺いして、学生等の若者に闇バイトへ応募させない取組が大切だと感じた。 学生たちの親が、子供のスマートフォンの使用状況をチェック出来たら良いと思うが、現状はなかなか出来ていないと思う。 若者の親を対象に、闇バイト応募防止のため、子供のスマートフォンの使用状況を確認する必要性等を情報発信すれば良いのではないかと思う。</p> <p>【警察】先ほど説明したように、既にスクールサポーターが管内中学校等で、学生に対して、闇バイトへの応募の防止等について、非行防止教室の一環で話等している。 来年度、管内の全中学・高校で情報発信していきたいと考えている。</p> <p>【委員】私は保護司をしているが、その関わりを皆さんに御説明したい。 関わった方は、特殊詐欺の受け子をして刑務所に入所した後、私に対応した。 性格はとても大人しく、なかなか自分から話が出来ない方だった。出所後、まずは仕事を見付けるために支援を行った。その方はアルバイトから仕事を</p>		

会 議
内 容

始めたが、2年程経つと、また警察に捕まってしまった。

その方は勤めていた仕事が嫌になり、別の仕事を探す際、ハローワークなどを利用せず、インターネットで楽で高収入等の仕事を探した結果、また犯罪に手を染めてしまった。その方の親も、きっと、その方のスマートフォンのやり取りなど、確認は出来ていなかったと思われる。

【委員】私は主人と二人暮らしをしているが、電話対応も来訪者対応も全て主人が最初に対応してくれている。

本日のお話を聞き、若者には「汗水を流して働く大切さ」「楽に見える仕事の危険性」等について、家庭教育の中で、しっかりと教育することが大切だと思った。

【委員】私は住民が適切に情報処理をする能力を高めることが大切だと考える。

良い情報と悪い情報を選別する能力が、今、住民に必要とされている。出来得るならば自治体に期待したいと思う。

【警察】今、話題となった情報処理能力を高めることについては、京都府警察で運用しているネット安心アドバイザーも活用していただければと思う。

本日、ネット安心アドバイザーの広報チラシは皆さまにお渡ししており、京都府警察のホームページでも詳細が掲載されている。

【委員】若者の生活が随分変わってきている。少し前までなら、学校を卒業して正規職員として就職するのが当たり前であった。

今は、学校を卒業してもアルバイト等の非正規雇用で働き続ける方も多い。しかし、非正規雇用では、社会保障の自己負担費用を支払うのも大変だと思う。そして、そんな若者はつい、高収入をかたる闇バイト等に応募してしまうのではないかと考える。

【委員】闇バイトの大元は暴力団なのか。

【警察】暴力団につながっているものもあるかもしれないが、全てかどうかは分からない。

【委員】精華町役場では、ハローワークの職員が役場に出張して窓口を設置し、就職活動の拠点を作っている。

しかし、闇バイトに応募するような方は、役所やハローワークの手続に頼らずスマートフォン1つでインターネットで仕事を探している。

SNSで募集されるものには、SNSの広報で対策を取ることも必要だと思う。

警察庁のYouTubeも先ほど紹介してもらったが、固すぎるように思う。

今回会議の案内で配付された警察庁作成の漫画が入ったチラシは適度に見やすかった。

闇バイトによる犯罪は、手荒い犯罪も多く、行政として被害防止対策で何が出来るとかというのなかなか難しい。

【警察】昨年、闇バイトの報道等が頻繁にされ、一般人の防犯への関心は高まった。警察としては、一層、住民の方に防犯の関心を高めてもらう取組を推進していきたい。

【委員】闇バイトの報道を見ていたが、身近な犯罪とはまだ思えないところがある。
実際に、木津警察署管内で、闇バイトによる犯罪の認知や検挙はあるのか。

【警察】今のところ、当署管内で闇バイトによる犯罪の認知・検挙はない。

しかし、当署管内で発生している未検挙の侵入窃盗事件が、犯人を検挙すれば実は闇バイトにかかる事件であるということはある。

【委員】私達世代であれば、LINE等で地域住民がつながっていて、訪問販売や不審な車を見掛けたら、すぐ情報共有される。

しかし、10代や20代は、そのようなコミュニケーションがないように思われるため、その親世代への情報発信は効果的かもしれない。

【委員】私の息子は大学生で一人暮らしをしている。息子がどういう生活をしているのか、スマートフォンでどのような連絡を取っているかは分からない。

「闇バイトはするなよ。」くらいしか言えないかもしれない。だから、もっと下の年代、中高生の世代に、闇バイト防止等の教育が必要ではないか。

また、少年にスポーツを教えているような団体に、少年に情報発信してもらおうという方法もあるかもしれない。

木津署では、孫から親等への被害防止の情報発信をされたと聞いたが、今回の件では、逆に祖父母世代から孫への注意喚起というのも出来るかもしれない。

そのようなことを企画するならば、南山城村では「老人大学」という高齢者の集まりが活用出来るかもしれない。

【委員】私は少年野球を教えているが、最近の子は、甲子園に行けるような技量を持った子供が、「楽にやりたい。」等言って、レベルが高い野球が出来る高校への進学を避けることがある。

今の若い世代は、「楽に生きたい。」という風潮が見受けられる。そのような世代に、どのように響かせるかが課題かもしれない。そのためには、YouTubeとのコラボによる情報発信も一つの方策になるかもしれない。また、若者に情報発信させるには、分かりやすくしなければならない。

闇バイトに応募すればどうなるか、分かりやすい情報発信が出来れば、闇バイトへの抑制が効くと思う。

4 事務連絡

令和7年度第1回京都府木津警察署協議会は、令和7年6月頃に実施予定である。

以上

第4回京都府木津警察署協議会の開催状況

